

事務事業名	商工業振興補助事業		所属部	産業観光部	所属課	商工振興課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	地域産業支援G	課長名 落部 大
	施策名	〈37〉商工業の振興		担当者名	田部 開次	電話番号 0854-40-1052 (内線) 2391
	目的・対象	商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。		
	基本事業	〈109〉地場企業の経営支援		予算科目	0:1350:2 項 目 中事業 中事業	商工総務管理事業
	目的・対象	市内事業所	意図	経営の安定・強化を図り、売上を伸ばす。		
				0:5107:4 項 目 中事業 中事業	商工業振興補助金	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市内商業事業者	商工会の活動の活性化 市内商工業者を組織力でバックアップし、総合的な経営改善を図り、商工業の発展及び地域振興をめざす。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	雲南市の商工業振興を図ることを目的とし、雲南市商工会が行う事業に対し補助金を交付する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 雲南市商工会が実施する次の事業に関する経費の支援。 ①小規模事業者の指導育成 ②商店街振興事業、観光振興事業、部会及び支部活動助成 ③専門家派遣事業 ④開業支援、商店街活性化事業 ⑤小規模事業者活動支援事業 ⑥消費喚起対策事業	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 令和5年度は、市内事業者の生産、製造、加工した地場産品またはサービスの消費喚起並びに販路開拓・拡大を目的とした、消費喚起対策事業を新たに創設し、「プレミアムカタログ」の作成、販売を行った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 卸・小売業年間販売額 (経済センサス活動調査公表値)	百万円	42,918(H28調査)	42,918(H28調査)	38,185(R3調査)	38,185(R3調査)
イ 地元購買率 (市民アンケート)	%	83.8	85.8	87.3	90.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
負担金補助及び交付金 45,216千円 ・小規模事業指導費補助22,800千円 ・地域振興支援事業費補助1,267千円 ・専門家派遣事業575千円 ・開業支援、商店街活性化事業746千円 ・小規模事業者支援活動事業4,287千円 ・消費喚起対策事業15,541千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円				
	事業費計	千円	43,874	29,788	45,216	48,772

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	商工会アクションプランに基づいて、商工会事業が具体的、計画的に進められることで、市内商業事業者の経営支援に結びついた。
② 事業実施するうえでの課題	商業振興の中心的存在である商工会への補助金であり、市の商業振興を推進していく上で重要な事務事業である。また、コロナ禍以降の市内経済の今後の回復のための消費喚起事業も引き続き行っていくなければならない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	準公共的で自主財源確保が困難な団体であるため、補助金が削減されるとそのまま商工会事業の縮小につながり、商業振興の面からは、かなり成果が下がると思われる。 また、商工会の運営に係る経費がギリギリであるため、これ以上の補助金削減は厳しいと思われる。各種計画や消費喚起事業の企画により、商工会事業がより具体的、計画的に進められることで、市内商業事業者の経営環境が改善され、成果を向上させることができる。